授業科目名	英語	実施時期	1年 前期・後期
授業回数	90 分×30 回	単位・時間数	4 単位 60 時間
担当者名	岡﨑 京子		

- ・医療現場での会話を動画で見て、患者さんに寄り添いつつ英語で指示・説明することを 学ぶ
- コミュニケーションのための英語を重視する

- ・医療現場で使う会話表現を英語で行えるようになる
- ・患者さんの話す英語を聞き取ることができる

口		授業内容	口	授業内容		
1	Welcom	ing a Patient (1)	16	Feeling So Sick! (1)		
2	Welcom	ing a Patient (2)	17	Feelin	g So Sick! (2)	
3	Welcom	ing a Patient (3)	18	Feelin	g So Sick! (3)	
4	Welcom	ing a Patient (4)	19	Feelin	g So Sick! (4)	
5	小テス	ト他の教材	20	小テス	ト他の教材	
6	Taking	vital Signs (1)	21	Transf	erring a Patient (1)	
7	Taking	vital Signs (2)	22	Transf	erring a Patient (2)	
8	Taking	vital Signs (3)	23	Transferring a Patient (3)		
9	Taking vital Signs (4)		24	Transferring a Patient (4)		
10	小テス	ト他の教材	25	小テスト 他の教材		
11	Pain As	ssessment (1)	26	Personal Care(1)		
12	Pain As	ssessment (2)	27	Personal Care(2)		
13	Pain As	ssessment (3)	28	Personal Care(3)		
14	Pain As	ssessment (4)	29	Person	al Care(4)	
15	総合テスト 他の教材		30	総合テスト 他の教材		
授業	授業形態 講義、ペア活動		評価	評価方法 小テスト、期末テスト、 予習状況、提出物など		
教习	《科書』『Talking with Your Patients in English』平野 美津子/成美堂				h』平野 美津子/成美堂	
参	参 考 書 辞書(電子辞書可)必ず持参					

授業科目名	人間科学	実施時期	1年次	前期
授業回数	90 分×7 回	単位・時間数	2 単位	30 時間 (うち 14 時間)
担当者名	折谷 隆志			

本講は「生命の起源とはなにか」、「人の祖先はどこからきたのか」、「生物学はどのように発展してきたのか」など生命に関する基本的知識を深めると共に微生物、植物、動物からなる生態系の中で私達人類もまた進化と遺伝の法則に従う生命体として理解することにある。

【到達目標】

生物学の諸分野を勉強する為には、生命を構成する化学物質である DNA、蛋白質などを 基礎として「遺伝の仕組み」、「ゲノム説」と共に、「生物の進化」などを理解することを 目的とする。

口	学 習 内 容				
1	生命の	起源			
2	人類の	起源と進化			
3	生物学	の歴史			
4	生命の	化学			
5	遺伝の仕組み				
6	ゲノム	説と人類遺伝子			
7	進化				
授業	类形態 講義 評価方法 筆記試験				
教	科 書 『ダーウィン 「進化論の父」の大いなる遺産』鈴木 紀之/中公新書				
参	考 書				

授業科目名	人間科学	実施時期	1年次	前期
授業回数	90 分×8 回	単位・時間数	2 単位	30 時間 (うち 16 時間)
担当者名	大島 徹(工学博士)			

理学療法を学び臨床で実践していく上でヒトの動作原理や運動療法などの原理を理解 できるよう、基礎物理学の中から力と運動に関する基礎的な見方や考え方を身に着ける。

- ・力と運動の基礎的な取り扱いについて理解できる。
- ・ヒトの力と運動について一般化して考えられるようになる。

口		学 習 内 容				
1	-	物理学の重要性、物理量と単位系 ベクトルとスカラー、三角関数				
2	力とつ 滑車	り合い、作用・反作用				
3	力のモ てこの	ーメントとつり合い 原理				
4	演習					
5	等速直	線運動、等加速度運動、運	動方程式			
6	仕事と	エネルギー				
7	撃力、	 慣性力、遠心力				
8	演習					
授業	業形態 講義 評価方法 演習、試験を総合的に評価する。					
教	科 書 資料配布					
参	『新しい高校物理の教科書』山本 明利 他著/講談社ブルーバックス * 考 書 『マンガでわかる物理 力学編』新田 英雄 他/オーム社 『医療系のための物理』佐藤 幸一、他/東京教学社 など					

授業科目名	心理学	実施時期	1年次	前期
授業回数	90 分×15 回	単位・時間数	2 単位	30 時間
担当者名	大石 昂			

「病は気から」とも言われるように、心と体は密接につながっている。その「心」について科学的な理解を得るために必要な心理学の基礎と方法を広く学ぶとともに、パーソナリティ検査を体験し、自己理解を深める。

- ①心理学の基礎知識を習得する
- ②心理学の tool を利用して自己認識を深める

②心理子の 1001 を利用して自己認識を休める					
口			学習内容		
1	心理学史 心の謎				
2	感覚と	知覚1 視る			
3	感覚と	知覚2 聴く			
4	感覚と	知覚3 知覚の障害			
5	学習と	記憶1 条件づけ			
6	学習と	記憶2 学習(運動学習を			
7	学習と	記憶3 記憶			
8	思考				
9	パーソ	ナリティ1 性格検査・性	格判定		
10	パーソ	ナリティ2 パーソナリラ	一才理論		
11	動機づ	けと感情 行動の仕組み・	理性と感情		
12	スポー	ツと心理的サポート 集中	力・あがり・ス	スランプ・ヒューマンエラー	
13	心理的	コンディショニング、イメ	ージトレーニン	<i>/</i> グ	
14	心理測定1 見えないものを測る心				
15	理測定 2 心を測る工夫				
授業	受業形態 講義 評価方法 レポート、学期末試験			レポート、学期末試験	
教力	科 書	『心理学 心のはたらきる	を知る』梅本尭	夫、ほか/サイエンス社	
参	考 書	『リファレンスブック』?	公益財団法人日	本スポーツ協会	

授業科目名	哲学	実施時期	1年次	前期
授業回数	90 分×15 回	単位・時間数	2 単位	30 時間
担当者名	市村 俊信			

「哲学する」ことの楽しさやせつなさを実感することがこの講義の目的です。身近にあってふだんからよくわかっていることを、あらためて考え直してみる訓練を通じて、思考や行為といった日々の暮らしの営みに潜む「言葉」の姿をあぶり出していきます。そのうえで、私たちの言葉を通じたふるまいが、世界や環境においてどのように発現するのかを確認していきます。私たちの使う言葉の価値、言葉がもたらす力を、ていねいに探っていくことになります。

【到達目標】

「哲学する」ことができるようになること。これがこの講義に参加するみなさんの「目標」です。自分の興味や関心にそって問題を見つけ、それを正しい問いとして立て、自身で解答を導きだす。このような学問の過程を「哲学する」という作業によって具体的な訓練を積みながら身につけていきます。手がかりのために先人の言葉を参考にしながら、自分の周囲で他人がどのようにふるまい、自身の記憶がどのような姿かたちをとっているのかを、自分自身でじっくりと考えてみる、そういういわば実習の機会がこの講義です。そうした作業を通じて、興味のあること、関心をもった問題について、豊かにしなやかに考えられるようになることが、この講義におけるみなさんの達成すべき目標とかります

講義	議におけるみなさんの達成すべき目標となります。				
回	学 習 内 容				
1	イメージと言語				
2	イメージ	と言語、その二			
3	イメージ	と言語、その三			
4	イメージ	と言語、その四			
5	他人につ	かいて			
6	他人につ	いいて、その二			
7	他人につ	いいて、その三			
8	他人につ	いて、その四			
9	行為につ	かいて			
10	行為につ	いて、その二			
11	行為につ	かいて、その三			
12	言語と力	1			
13	言語と力	り、その二			
14	言語と力、その三				
15	言語と力、その四				
授	受業形態 配付資料(事例紹介)を用いた講義 評価方法 レポート				
教	数 科 書 適宜資料配付				
参	考書	配付資料に記載			

授業科目名	社会学	実施時期	1年次	後期
授業回数	90 分×15 回	単位・時間数	2 単位	30 時間
担当者名	志賀 文哉			

現代社会は様々な事象であふれている。それを読み解く学問の一つである社会学は多岐に わたる。本講義では、現代社会の見方を知り、自己の関心を深めるなかで、社会にある事 象をそれぞれの興味関心に引き寄せたり、新たな興味関心を掘り起こしたりしつつ、受講 生各自の学問的な追究につなげることをねらいとする。

【到達目標】

具体的な到達目標は以下のとおりとします。

- 1. 現代社会を理解し自分なりの見方を得ることできる
- 2. 各自の興味関心に引きつけて考えることができる
- 3. 新たな興味関心を専門学習へつなげることができる

3. 材にな典外角心を守门子自***フなけることがてきる					
口	学 習 内 容				
1	現代社会の見方				
2	個人と社	会①-個人-			
3	個人と社会	会②-社会-			
4	家族と社	会①-現代の家族-			
5	家族と社	会②-社会との関係-			
6	地域社会	①-現状と課題-			
7	地域社会	2-住み慣れた地域で暮らす	`_		
8	多文化社	会①-多文化共生-			
9	多文化社	会②-外国ルーツの子の課題	<u> </u>		
10	国際社会	③-海外で起きていること-			
11	国際社会	③-日本との関わり-			
12	科学と社	会①-科学の進歩と社会-			
13	科学と社	会②-科学の理解-			
14	現代社会	の諸問題			
15	全体のまとめ				
授	受業形態 講義 評価方法 レポート				
教	教科書なし				
参	考 書	必要に応じて講義の中で紹介	 介します。		

授業科目名	保健体育	実施時期	1年次 前期	
授業回数	90 分×15 回	単位・時間数	2 単位 30 時間	
担当者名	中村 拓人 (理学療法士、日本スポーツ協会公認アスレテックトレーナー)			

現代社会におけるスポーツ(運動)の意義と価値を理解するとともに、スポーツ実施に必要な知識と技術の習得を目標にする。

- ・「保健」、「スポーツ」分野の基礎知識を得る
- ・スポーツ活動を通じて、スポーツごとに特有な動作について理解を深める
- ・基礎的テーピング技術を正しく理解し、実践できる

口	学 習 内 容				
1	スポーツ現場における安全・健康管理、スポーツ外傷・障害予防の概念				
2	スポーツ現場における、スポーツ外傷・障害・事故・疾病の実態				
3	安全・健康管理に影響を及ぼす要因				
4	性別がス	スポーツに及ぼす影響			
5	年齢・特性がスポーツに及ぼす影響				
6	感染症				
7	環境がスポーツに及ぼす影響				
8	スポーツ動作実技 (走動作、跳動作、方向転換動作:バスケットボール)				
9	スポーツ動作実技(走動作、跳動作、方向転換動作:バスケットボール)				
10	0 スポーツ動作実技(投球動作、打撃動作:ソフトボール)				
11	1 スポーツ動作実技(投球動作、打撃動作:ソフトボール)				
12	12 テーピング実技(アンダーラップ、アンカー)				
13	テーピング実技(足関節)				
14	テーピング実技(膝関節)				
15	5 テーピング実技 (その他)				
授	業形態	講義、実技 評価方法 授業態度、技術習得度			
教	教 科 書 『アスレティックトレーナー専門科目テキスト 2 安全・健康管理および スポーツ外傷・障害の予防』公益財団法人日本スポーツ協会				
参	参 考 書 『リファレンスブック』公益財団法人日本スポーツ協会				

授業科目名	人間関係論	実施時期	3 年次	後期
授業回数	90 分×8 回	単位・時間数	1 単位	15 時間
担当者名	高沢 由美			

職業人として必要な意識の醸成、人間関係を構築するための具体的なコミュニケーション 能力を身に付ける

- ・自己理解を深め、職業人になるためのモチベーションを高める
- ・効果的なコミュニケーション法を理解し、臨床現場で実践する

□	学習項目		学 習 内 容		
1	_ - 職業人意識 _		社会人・職業人の社会的役割と責任		
2			職場での人間関係		
3			自主性・組織理解		
4			職業観・キャリアデザイン		
5	6 		自己 PR、論理的話の展開		
6			話し方の基本		
7			聴き方の基本		
8			ビジネスコミュニケーション		
授業形態 講義、演習		講義、演習		評価方法	受講態度、授業で行う実習等総合的に判定して行う
教 科 書 資料		資料			
参考書					